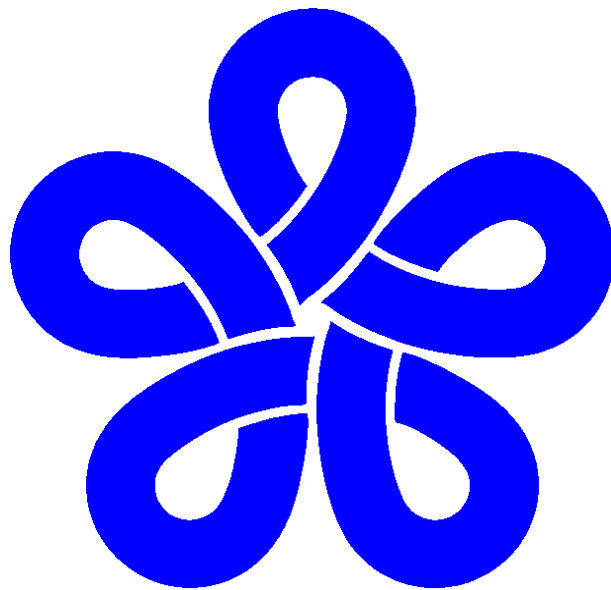


令和 8 年 1 月
福岡県議会・ハワイ州議会友好訪問団
報 告 書



令和 8 年 1 月 19 日～23 日

福 岡 県 議 会

福岡県議会・ハワイ州議会友好促進訪問団について

1 概要

福岡県とハワイ州は 1981 年に姉妹提携宣言、福岡県議会とハワイ州議会は 1982 年に国際友好親善促進の盟約締結以来、40 年以上の長きにわたり様々な分野で互いに交流を重ね、強固な信頼関係を築いてきた。

今回、ハワイ州議会からの招へいに基づき、ハワイ州との友好交流親善を一層発展させるため、ハワイ州を訪問した。

ハワイ州知事及びハワイ州議会上院・下院への表敬訪問、意見交換を行い、ハワイ州議会の上院及び下院の開会式では、訪問団が来賓として紹介され、長年にわたる両県州の友好交流に議場から温かい拍手が送られた。

また、ハワイ大学とワンヘルスに関する意見交換を行うとともに、福岡県人会、在ホノルル日本国総領事館との懇談会を実施し、福岡県とハワイ州の交流促進について意見交換を行った。

2 期間

令和8年1月19日（月）～23日（金）

3 訪問団

福岡県議会副議長	中尾 正幸
自民党県議団会長代理	長 裕海
民主県政県議団会長代理	原中 誠志
新政会福岡県議団会長	椛島 徳博
自民党県議団	秋田 章二
自民党県議団	川端 耕一
自民党県議団	宮原 伸一
自民党県議団	横尾 政則
民主県政県議団	室屋 美香
民主県政県議団	坪田 晋
（随員職員）議会事務局次長 ほか2名	

4 行事概要

【1月19日（月）】

ハワイ大学とのワンヘルスに関する意見交換（14：00～）

ハワイ大学のサンドラ・チャン教授及びマイケル・ブルーノ教授とワンヘルスに関する意見交換を行った。

本県におけるワンヘルスの取組について、秋田議員がプレゼンテーションを行ったほか、ハワイ大学からも、同大学におけるワンヘルス推進の取組についてプレゼンを受けた。

その後、本県が実施している県内高校生を対象にしたハワイへの派遣事業におけるハワイ大学での受入れ状況や本年5月にハワイで開催される姉妹都市サミットでのワンヘルスプログラムについて意見交換を行ったほか、ブルーノ教授からは、ワンヘルスの実践による環境への影響を明らかにしていきたいという話があった。



（サンドラ教授・ブルーノ教授との記念撮影）



（意見交換の様子）



（記念品贈呈 左：サンドラ教授 右：ブルーノ教授）

ハワイ大学との懇談会（18：30～）

ハワイ大学での意見交換に引き続き、サンドラ・チャン教授及びマイケル・ブルーノ教授と懇談を行った。

サンドラ教授からは、今後とも福岡県の高校生を受け入れたい旨の発言があったほか、両県州におけるワンヘルスの取組について意見交換がなされ、終始和やかな雰囲気の中で親睦が深められた。

今後の連携の強化やワンヘルスに関する知見の共有にあたって、大変有意義な懇談となった。



（記念撮影）

○サンドラ・チャン教授略歴

（参照：ハワイ大学マノア校 HP：

https://manoa.hawaii.edu/tropicalmedicine/?page_id=478）

1973 年：ハワイ大学マノア校 学士 生物学

1977 年：ハワイ大学マノア校 修士 微生物学

1983 年：オレゴン健康科学大学 博士 微生物学及び免疫学

1983-1986 年：カリフォルニア工科大学博士研究委員 分子免疫学

○マイケル・ブルーノ教授略歴

(参照：ハワイ大学 HP

<https://www.soest.hawaii.edu/ore/people/faculty/michael-bruno/%EF%BF%BC>)

・ハワイ大学マノア校

海洋資源工学科教授 (2016 年～現在)

2019 年から 2025 年まで学長

2016 年から 2019 年まで研究担当副学長および学務担当副学長

・スティーブンス工科大学

工学・理学部長、2007 年～2015 年

2008 年から 2015 年まで国土安全保障省海洋安全保障センター所長

デイビッドソン研究所所長、1989 年～2007 年

土木・環境・海洋工学科教授 (1989 年～2015 年)

・ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン

機械工学科 名誉講師 (2004 年～現在)

【1月20日（火）】

ハワイ州 ジョシュ・グリーン知事表敬訪問（12：30～）

ハワイ州のジョシュ・グリーン知事を表敬訪問した。

中尾副議長は、「グリーン知事には、ワンヘルスを中心とした交流を着実に深めていただいております。今後とも、ワンヘルスをはじめとした様々な分野での交流を通じて、両県州の友好促進に尽力していきたい」と挨拶した。

グリーン州知事は「一人の医師として、ワンヘルスには強い思い入れがある。福岡でワンヘルスが推進されていることに、大変感謝している。ハワイは観光で知られているが、そこに医療、ヘルスケア、獣医学、環境問題といったものを取り入れようと私も努力している」と述べられた。

グリーン知事と両県州の友好関係を確認し、今後の関係の維持、発展に向けて大変有意義な訪問となった。



（グリーン知事との集合写真）



（グリーン知事への記念品贈呈）



（握手を交わすグリーン知事、中尾副議長）

○ジョシュ・グリーン州知事略歴

(参照 ハワイ州政府 HP: <https://governor.hawaii.gov/>)

2004 年から 2018 年まで州下院議員と州上院議員を務めた。上院保健福祉委員会の委員長として、自閉症スペクトラム障害の子供たちのケアを提供する「ルーク法」や、タバコと電子タバコの購入年齢を 21 歳に引き上げるタバコと電子タバコの規制を可決した。住宅問題解決に情熱を注ぐグリーン知事は、ホームレスの退役軍人、クプナ（高齢者）、その他の人々が安全な住居を選ぶように「カウハレ」コミュニティの創設を支援しました。これらの取り組みは継続中で、知事としての彼の最優先事項の 1 つであり続ける。グリーン知事は、COVID パンデミックの間、州史上最大規模の医療対応を主導することで、副知事の役割を拡大しました。これらの重要な緊急対策により、ハワイは全米で最も低い COVID-19 死亡率を達成した。

ハワイ州議会上院・下院合同表敬訪問（14：00～）

ハワイ州議会を表敬訪問し、クリス・リー上院議員、ナディーン・ナカムラ下院議長をはじめとする州議会議員と会談を行った。

クリス上院議員は、「ハワイ州と福岡県の友好提携は私が生まれた 1981 年に始まっており、意味深い年だと思っている。両地域の友好関係をもっと深めていきたい」と挨拶された。

ナディーン下院議長は、「祖母が福岡にゆかりのある人物で、福岡とハワイが長い友好関係の歴史を持っていることに大変感謝している。下院としてもこの友好関係を長く続けていきたい」と述べられた。

中尾副議長からは、開会式へのご招待に感謝を申し上げるとともに、「今後とも相互交流をさらに活発化させ、両地域の経済や文化の発展に繋がるよう、活動を充実させていきたい」と挨拶した。

その後、両県州における環境問題やその対策等について意見交換を行った。



（クリス上院議員へ記念品の贈呈）



（ナカムラ下院議長へ記念品の贈呈）



（ハワイ州議会議員との記念撮影）

○クリス・リー上院議員略歴

(参照：クリス上院議員 HP

<https://www.chrisleeforhawaii.com/about>)

2008 年からハワイ州上院議員。ハワイを LGBT 家族の基本的市民権を保障する 15 番目の州にするために尽力した。2015 年、住民が電気料金の高騰に不満を訴えた際、クリスは化石燃料業界に立ち向かい、ハワイをより安価な 100% 再生可能エネルギーを義務付ける最初の州とする法律を成立させた。

○ナディーン・K・ナカムラ 下院議長略歴

(参照：ナディーン下院議長 HP

<https://www.repnakamura.com/what-we-do>)

ナカムラ議員は 2016 年にハワイ州下院議員（第 15 選挙区）に初当選。現在は下院議長を務める。これまでに多数党院内総務、下院立法管理委員会（LMG）委員長、住宅委員会（HSG）委員長、および福祉・ホームレス対策委員会（HSH）副委員長を歴任。

在ホノルル日本国総領事館との意見交換会（18：00～）

在ホノルル日本国総領事館の春田首席領事、梶谷領事と意見交換を行った。

中尾副議長は、「今後とも、ワンヘルスをはじめとした様々な分野において連携を強化し、両県州の経済や文化の発展につながるよう、活動を充実させていきたい」と挨拶したほか、総領事館に対して両県州の友好関係維持・発展のための協力を依頼した。

このほか、日米をはじめとする国際情勢などについて、活発な意見交換が行われた。



（春田首席領事、梶谷領事との記念撮影）

【1月21日（水）】

ハワイ州議会開会式出席（10：00～）

上院、下院の二手にわかれて、ハワイ州議会開会式に出席した。

訪問団が来賓として紹介され、長年にわたる両県州の友好交流に議員席及び傍聴席から温かい拍手が送られた。

上院議会出席者：原中議員、椛島議員、室屋議員、坪田議員

下院議会出席者：中尾副議長、長議員、川端議員、宮原議員、横尾議員



（開会式の様子 左：下院 右：上院）

ハワイ日本文化センター視察（14：45～）

ハワイ日本文化センターを視察した。

同センターは、1987年に創立されたハワイ州の非営利団体（501条(c)(3)団体）で、ハワイにおける日系人社会の発展、歴史、伝統や文化を分かち合うことを目標としている。

ホノルルのサウス・ベレタニア通りに位置し、歴史展示館、資料館、武道剣士館、茶室、ギフトショップも併設。一年を通して、様々なプログラム、催し物、展示会も行っており、文化センターとして地域の集いの場となっている。

（参照：ハワイ州観光局公式学習サイト

<https://www.aloha-program.com/activity/npo/detail/jcch>）

ハワイ福岡県人会の会員にガイドを務めていただき、展示内容について説明を受けた。

館内は当時の生活を再現したジオラマ空間になっており、日系移民の当時の暮らしぶりや彼らが直面した苦難を肌で感じることができた。

貴重な写真や物品資料も大変充実しており、訪問団は日本とハワイの歴史の深さを学ぶとともに、数々の苦難を乗り越えた日系移民の逞しさに感銘を受けた。



福岡県人会との懇談会（18：30～）

ハワイ福岡県人会の会長をはじめとする福岡県人会の方々と懇談会を行った。また、今回はコナ福岡県人会及びハワイ島福岡県人会からもご参加いただいた。

中尾副議長は、参加された県人会の方々へ謝意を伝え、前年日本政府より旭日小綬章を受章されたバート・コバヤシ氏（元ハワイ州議会議員、元ハワイ福岡県人会会長）に祝意を述べた。また、2028年にハワイで開催される福岡県人会世界大会の成功を祈念した。

会長は、ハワイでの世界大会開催に向けた意気込みを語られたほか、福岡からの訪問団の来訪を歓迎する言葉を述べられた。

終始和やかな雰囲気の中で意見交換が行われ、参加者は大いに親睦を深めた。



（県人会の方々との集合写真）

○バート・コバヤシ氏略歴

コバヤシ議員は1978年から1994年まで州下院と州上院で16年間務め、2012年に州下院議員に再選。「リビングウィル」法、コミュニティベースの介護施設「壁のないナーシングホーム」、初のHIV感染者秘密保持法、学校コミュニティベース管理（SCBM）法などの制定に貢献した。

福岡県とハワイ州の友好関係の発展に多大な貢献をした人物。

【団長 総括】

今回のハワイ州訪問は、福岡県とハワイ州との交流の現状を確認するとともに、今後の連携の方向性について率直な意見交換を行うことができた大変有意義な機会となりました。

福岡県とハワイ州は長年にわたり交流を重ねてきたが、近年は特にワンヘルスを共通の理念として関係を深化させています。昨年締結された「ワンヘルスの推進に関する覚書」を契機として、行政、議会、大学、地域社会など幅広い主体が関わる交流へと発展しており、今回の訪問を通じてその広がりと可能性を改めて実感した次第です。

ジョシュ・グリーン州知事との面会では、福岡県が進めるワンヘルス推進の取組に対し高い評価が示されるとともに、今後も両地域が連携しながら環境保全や健康増進に取り組んでいくことの重要性について認識を共有しました。グリーン州知事からは、福岡県の取組に対する感謝の言葉とともに、今年12月に開催予定のワンヘルス関連会議への参加についても言及があり、今後の交流拡大への期待が示されました。

ハワイ大学における意見交換では、ワンヘルスを単なる学術的概念としてではなく、人材育成や政策形成につなげる実践的な取組が進められていることを学びました。特に、医学生が環境と健康との関係を理解し、その知見を社会課題の解決や政策提言につなげていく教育が行われていることは大変印象的でした。また、高校生や大学生を対象としたアウトリーチ活動にも力を入れており、気候変動や環境問題を自らの課題として考え、行動につなげるための教育が行われています。ワンヘルスの理念を次世代へ継承していくためには、こうした若い世代への働きかけが重要であり、福岡県においても大いに参考となる取組であると感じたところです。さらに印象的だったのは、ハワイ大学関係者から、福岡県議会がワンヘルス推進において主導的な役割を果たしていることへの高い評価をいただいたことでもあります。福岡県では議員提案によるワンヘルス推進基本条例の制定をはじめ、議会が政策形成を牽引してきた経緯がありますが、研究者の立場からもその取組が高く評価されていることを知り、大変心強く感じた次第です。

ハワイ州議会との意見交換では、環境問題や持続可能な社会の実現について活発な議論が交わされました。クリス・リー上院議員からは、ワンヘルスを両地域の共通課題として捉え、議会同士が連携しながら政策を前進させていくことの重要性が語られました。特に「議会には社会を動かす力がある」との発言は強く印象に残っています。また、海洋環境保全に関する取組についても多くの示唆を得ることができました。島嶼地域であるハワイ州においては、海洋資源や自然環境が生活や産業を支える重要な基盤となっており、その保全に向けて様々な制度や財源確保策が検討されています。利用者負担の考え方や観光と環境保全を両立させる取組は、福岡県における森林環境税の議論とも通じるものがあり、

今後の政策研究の参考になるものでありました。

加えて、ハワイ大学と福岡県内高校生との交流やシスターズサミットなど、若者同士の交流が着実に進んでいることも確認することができました。将来を担う世代が国際的な視野を持ち、多様な価値観に触れながら学び合うことは、両地域の未来にとって大きな財産となります。

今回の訪問を通じて、福岡県とハワイ州との関係は、友好交流の段階から、共通課題の解決に向けて共に行動する協力関係へと発展していることを実感しました。今後も福岡県議会として、ワンヘルスをはじめとした様々な分野において交流を深め、その成果を県民生活の向上につなげていけるよう努めてまいります。

【訪問団コメント】

今回のハワイ州訪問では、州知事、州議会、ハワイ大学関係者との意見交換を通じて、多くの学びと気づきを得ることができました。

訪問団として特に印象に残ったのは、ワンヘルスの理念が行政や議会だけでなく、大学教育や研究活動、さらには地域社会にまで広く浸透していることです。

ジョシュ・グリーン州知事との面会では、福岡県とハワイ州とのワンヘルス分野における連携について意見交換を行いました。医師としての経験を有するグリーン州知事からは、福岡県が進めるワンヘルスの取組に対する高い評価と感謝の言葉が述べられるとともに、今後も両地域が協力しながら環境や健康に関する課題解決に取り組んでいくことへの期待が示されました。また、今年12月に開催予定の国際的なワンヘルス関連会議についても紹介があり、交流の継続と発展に向けた強い意欲を感じる機会となりました。

ハワイ大学では、環境の変化が人の健康にどのような影響を与えるのかを学び、その知見を政策提言へ結び付ける教育が行われています。また、医学生や大学院生だけでなく、高校生を対象としたアウトリーチ活動にも力を入れており、気候変動や環境問題を自らの課題として考える機会が数多く設けられていました。ワンヘルスの考え方は、理念を理解するだけではなく、実際の行動や政策につなげることが重要であるとの説明がありました。研究成果を社会へ還元し、さらに政策へ反映させるという一連の流れが構築されていることは、大変参考になりました。

また、研究者の方々からは、福岡県議会によるワンヘルス推進の取組に対する高い評価が示されました。福岡県では議会主導で条例を制定し、行政と議会が一体となって施策を推進していますが、そのような取組が海外の研究者からも注目されていることに誇りを感じた次第です。

州議会との意見交換では、環境問題や持続可能な社会づくりに対する強い危機感が共有されました。気候変動や海洋環境の悪化など、地域ごとの事情は異なるものの、直面している課題には共通点が多く、協力しながら解決策を模索していく必要性を改めて認識しました。特に海洋環境保全に関する議論は大変興味深いものであります。ハワイ州では海が生活や文化、観光産業を支える重要な資源である一方、その保全のための財源確保が大きな課題となっています。海洋スポーツ利用者や観光客にも一定の負担を求める案が検討されており、自然環境の恩恵を受ける人々がその保全にも参画するという考え方は非常に示唆に富むものでありました。福岡県でも森林環境税を活用した森林保全の取組が進められているが、森と海は川によってつながっており、自然環境を一体として捉える視点の重要性を改めて感じたところです。

また、ハワイ日本文化センターの視察では、日系移民の歩みや日系社会が築いてきた歴史と文化について理解を深めることができました。同センターでは、日系人の歴史や文化的遺産の保存・継承に取り組むとともに、その経験や価値観を

次世代へ伝える活動が行われています。展示を通じて、移民の生活や教育、地域社会の形成の過程を学ぶことができ、多様な困難を乗り越えながら地域社会の発展に貢献してきた先人たちの努力に思いを馳せる機会となりました。また、歴史や文化を次世代へ継承するための取組が地域ぐるみで行われていることは、人づくりや地域づくりを進める上でも大変示唆に富むものでした。

さらに、ハワイ大学と福岡県内高校生との交流についても大きな可能性を感じた。実際に交流事業へ参加した生徒たちは、海外で学ぶことや国際交流に強い関心を持ち、積極的に質問を行っていたとの紹介がありました。若い世代が国境を越えて学び合うことは、単なる語学や文化交流にとどまらず、将来の地域づくりや国際協力を担う人材育成にもつながるものであります。また、ハワイ側からは今後予定されているシスターズサミットや太平洋地域のリーダー会議への参加についても提案があり、交流が一過性のものではなく、継続的かつ発展的に進められていることを実感しました。

今回の訪問を通じて、福岡県とハワイ州との交流は、行政間交流や友好親善にとどまらず、環境、教育、人材育成、政策形成など幅広い分野で具体的な成果を生み出していることを確認することができました。訪問団一同、今回得られた知見や人的ネットワークを今後の議会活動や地域づくりに活かし、県民の皆様へ成果として還元していきたいと考えています。そして、ワンヘルスを共通理念として、福岡県とハワイ州との交流がさらに発展していくことに貢献して参ります。

令和8年1月福岡県議会ハワイ州議会友好訪問団 日程		
令和8年1月19日(月)～1月23日(金)【3泊5日】		
日程	時間	行 程
1月19日 (月) ※現地祝日	15:45 17:10 18:45 21:55 9:45 11:15 15:00 16:30 18:30	福岡空港 集合 福岡空港 発 (NH262) 羽田空港 着 (夕食@羽田空港) 羽田空港 発 (NH186) 《日付変更》 ホノルル空港 着 ホノルル空港 発 (昼食) 【ハワイ大学とのワンヘルスに関する意見交換】 (宿舎) 【ハワイ大学との懇談会】 (ホノルル泊)
1月20日 (火)	 12:30 14:00 18:00	宿舎 発 (昼食) 【ハワイ州知事表敬訪問】 【ハワイ州議会上院・下院合同表敬訪問】 (宿舎) 【在ホノルル日本国総領事館との意見交換会】 (ホノルル泊)
1月21日 (水)	10:00 14:45 18:30	宿舎 発 【ハワイ州議会開会式】 (昼食) ハワイ 日本文化センター (宿舎) 【福岡県人会との懇談会】 (ホノルル泊)
1月22日 (木)	 12:55	宿舎 発 ホノルル空港 着 ホノルル空港 発 (NH185) 《日付変更》 (機中泊)
1月23日 (金)	17:20 19:35 21:40	羽田空港 着 羽田空港 発 (NH273) 福岡空港 着